

LISSASPAC Japan から I-LISS Japan へ

志保田 務

(I-LISS Japan Chapter 会長)

LISSASPAC (Library and Information Science Society for Asia and the Pacific : アジア太平洋図書館情報学会) は 2016 年 6 月インドの SRM 大学を会場とした国際会合 (ICIDL) の場で、14 か国から同志が寄り設立されました。この分野でアジア太平洋地域の研究交流を望んでいた志保田務 (桃山学院大学名誉教授) と前川和子 (元・大手前大学) が参加し、志保田が副会長の一人に任命されました。帰国後 7 月初旬、会員を募り LISSASPAC Japan Chapter (日本支部) を 12 名で設立し本部 SRM 大学へ届けました。2017 年 8 月 12 日、支部設立のセレモニーを大阪府立中之島図書館別館で開催。諸挨拶のあと総会に入り支部会長に志保田務、副会長に前川和子、事務局長に中村恵信 (神戸松蔭女子学院大学) が選出、承認されました。続いて、本部長の呉東根博士 (啓明大学校、韓国図書館情報学会会長)、長倉美恵子 (元東京学芸大学)、大城善盛 (元・同志社大学) が記念講演し、午後は韓国から 2 本、日本から 4 本の研究発表がありました。この会合の予稿集を兼ね、*Journal of LISSASPAC Japan Vol.1, No.1* を刊行し、大城、長倉の講演全文と、その他の発表の要約、本部長、支部会長の挨拶文、会員名簿、日本支部規約を掲載しました。国立国会図書館の制度に従い国際標準逐次刊行物番号 (ISSN 2433-2542) を取得したので“逐刊”の要件を満たすべく、半年後の 2018 年 2 月、同巻 No.2 を発行しました。この号 (No.2) の記事は、村上泰子 (関西大学)、大城善盛による論文「21 世紀カナダ・オンタリオ州における公共図書館サービス・システム」と、前号で紙幅の都合から要約のみの掲載に止めた鎌田均 (京都ノートルダム女子大学)、Hyoung-Yeon Lim (Kyungil University)、立花明彦 (静岡県立大学短大部)、岡田大輔 (相愛大学)、Eungi Kim (Keimyung University)、それぞれの論文の全文と、本巻の編集長、前川和子による国際学会出席報告を掲載しました。以上は足跡ですが、本稿の本旨は今後にあります。

2018 年 3 月、参加各国旧組織を纏め I-LISS : International Library and Information Science Society (国際図書館情報学会) へ改編が合意形成され、活動域を Asia-Pacific から International (世界全域) へ広げました。同年 8 月 18-19 日バンコク総会に当支部からも 6 名が参加し、大城善盛が続くセッションでキースピーカーを務めました。

同年秋、本部は I-LISS と改称。当支部も 11 月規定に基づき総会を開催、I-LISS Japan Chapter と改称しました。機関誌を *Journal of I-LISS Japan* と変更、巻号を一新しました (ISSN 2433-7870)。論文には英文表示をします。

編集長は大城、編集次長は村上幸二 (奈良学園大学登美ヶ丘図書館)、編集委員は岡田大輔 (相愛大学)、家禰淳一 (奈良大学)、山田美雪 (兵庫県立大学) が任を継いでいます。このスタッフを担当三役 (志保田務、前川和子、中村恵信) が支えます。皆様、国際交流を楽しみに、奮ってご参画下さるようお願いします。